

発言(要旨) つづき



淡路支部 松下中央委員

南あわじ市で奨学金についての請願が採択されたが淡路から島外へ出て行く進学者の負担は大きい。副読本「世界と日本」は強制の問題だけではなく、中身自体が問題。



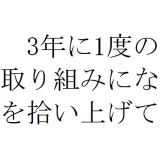
西播支部 藤本中央委員

支部教研の準備に力を入れている。講演は0Bの教え子にあたる有名な教授を早稲田からお呼びする。自治体キャラバンは実り多い取り組みができた。



障教組 市位特別中央委員

過密化が進み、職員に求められる専門性・特殊性も増大しており、努力でどうにかできるレベルではない。さらに条件整備を進めていきたい。



女性部 松本特別中央委員

3年に1度のアンケートが、たくさんの協力のもと大きな取り組みになっている。セクハラ・パワハラ等の切実な声を拾い上げていくことが大切。



実習教員部 池田特別中央委員

図書館法の改正に伴い学校図書館の状況が改善されていくはずがそうっていない。県に要望しているが受け止められていない。今後も署名に取り組んでいく。



従組 岡本中央委員

15年以上新規採用がない中で「在り方交渉」を粘り強く積み上げている。定数の問題も深刻で校務員室に二人欲しい。事務室は事務室で付けるべき。



西阪神支部 福住中央委員

「隠れ維新」の西宮市長が教育委員の一人を右翼系の人物にすげ替えるなどの動きが出始めた。職員会議の問題では文科省からも圧力がかかっているようだ。



市高 村上中央委員

評価・賃金リンクが来年から試行される。拡大は現勢回復まであと2名までできている。レクリエーションも復活させながら組合活動をもっとわかりやすく伝えていきたい。



東播支部 岡本中央委員

自宅研修が認められなくなってきた。校長会への働きかけもいるのでは。加入した組合員には綱領や規約をきちんと届けるようにしていくべきではないか。



尼崎支部 浪花中央委員

青年部のアンケートにいい反応がかえってきている。これをきっかけにしてゆっくり時間を取って話を聞いてもらい、加入を勧めたい。



「八鹿高校事件」40周年記念集会

日時：2014年11月24日 14:00～16:30

場所：兵庫県立「但馬長寿の郷」

(養父市八鹿町国木594-10)

Tel.079-662-8456)

プログラム：

○記念講演 吉開那津子氏 (作家)

○各団体等からの報告・あいさつ

○弁護団報告

○八鹿高校事件原告団あいさつ

終了後交流レセプションもあります。

決して風化させてはならない事件です。記憶にしっかりとどめ、また、知らない世代は学習し、今後に生かしていきましょう。

2014年教育フォーラムのご案内

日時 2014年11月1日 (土) 13:30～16:00

場所 神戸市勤労会館 多目的ホール

講演 「安倍『教育再生』政策の危険なねらいと教科書採択問題」

講師 俵 義文氏

(子どもと教科書全国ネット21事務局長)

新安倍内閣の危険な顔ぶれについても詳しく解説していただける予定です。是非ご参加ください。

団結ガンバリ！



神戸

憲法集会

日本国憲法公布68周年
憲法の素晴らしさを学ぶ

2014年
11月3日 (祝・月)
12:30開場 / 13:30開演
神戸新聞松方ホール
○会場費・資料代1,000円 (学生500円)
○保育有り

講演1
安倍政権の改憲
新段階と日本のゆくえ
一橋大学名誉教授
渡辺 治さん

講演2
アフガン、シリア
戦争から考える
戦争のリアル
フリージャーナリスト
西谷文和さん

●JR「神戸」駅、市営地下鉄海岸線「ハーバーランド」駅より徒歩約10分(26番出口より地上へ) 神戸情報文化ビル4F

主催●神戸憲法集会実行委員会 連絡先・事務局／兵庫県憲法会議 TEL.078-351-0677 FAX078-371-7376

協賛●憲法改悪ストップ！兵庫県共同センター／「憲法改悪反対」灘区共同センター／中央区憲法共同センター
憲法改悪反対兵庫県共同センター／憲法を守る北区共同センター／九条の会・長田区交流会
平和憲法を守る須磨区共同センター／平和憲法を守る垂水区ネットワーク／憲法9条を守る西区共同センター

教育の自由を取り戻し、 ともに子どもたちの未来と平和を守ろう！ 第182回中央委員会

10月4日、高教組会館にて第182回中央委員会が開かれ、全ての議案が全会一致で議決されました。討論の中では出席した中央委員の中から16名の発言があり、職場の切実な実態や教育条件の低下が浮き彫りにされる中で、ますます高教組の運動に求められる取り組みの大切さが確認されました。最後に赤松青年部長より特別決議「ともに教え子の未来と平和を守ろう！」の提案があり、大きな拍手で採択されました。

中央執行委員長あいさつ 雨松 康之

安倍首相の臨時国会における所信表明演説には、アベノミクスも集団的自衛権も登場しませんでした。かわって登場したのは、「地方創生」と「女性が輝く社会」です。破綻が明らかになったアベノミクスや多数の国民が反対する集団的自衛権行使容認の看板を掲げていたのでは、沖縄知事選や春の一斉地方選挙で大敗し政権基盤が揺らぐと判断したためだと思います。

しかし、大企業のための新自由主義構造改革と軍事大国化は安倍政権に課せられた「使命」であり、看板を掛け替えてもその本質が変わるところはありません。

例えば、「女性が輝く社会」について安倍首相は、安倍政権になって女性役員の比率が増加した、女性の就業者も53万人増えたと自画自賛しています。しかし、政府発表資料では企業の課長職以上に占める女性の割合は2年前に比べ0.2ポイント下がっていました。女性就業者数は確かに増えていますが、増加分は非正規で正規労働者は減少しているのです。また、世界経済フォーラムが発表した2013年度の世界ジェンダー格差指数によると、日本は、136カ国中なんと105位、この数字は昨年より4位、一昨年より6位順位を下げています。安倍首相は、先の国連総会で、日本は女性が活躍する社会を作る世界のリーダーとなるのだと宣言しましたが、世界の首脳が誰が信じたのでしょうか。恥ずかしい限りです。

さて、安倍政権の暴走が続く中、その一方で21世紀の民主主義を担う新たな、しかも若い担い手が大量に育っていることに注目する必要があると思います。官邸前の反原発や集団的自衛権行使容認反対行動に参加している数千、数万の参加者の中心は若者たちです。しかも、このような動きは全国230カ所以上に広がっています。そういう若者の声を紹介したいと思います。まず、官邸前行動に参加した若者の声です。「集団的自衛権について多くの若者や国民が反対したから、安倍政権は国会での法案審議を来年にずらしました。もっと声を大きくして『閣議



決定』を撤回させるまで追いつめたい。」次に、その行動に飛び入りで参加した若者です。「こういう行動を実際見たのは初めてです。政治には詳しくないけど、安倍首相は支持できません。沢山の人が反対していた秘密保護法も議論もなく急いで決めたり、消費税は8%でも高いのに、来年10%になるなんて嫌です。」次に、大阪でのヘイトスピーチに反対する「仲良くしようぜパレード2014in大阪」の運営委員をしている若者の発言を紹介します。「在日コリアンをはじめ社会的少数者を攻撃するヘイトスピーチは暴力です。リアル

タイムで被害者を生み、その傷は場合によっては一生癒えることはありません。だからすぐやめさせなきゃダメです。カウンター（抗議行動）は『応急措置』ですが、現場で反対を示すことで被害者の拡大を防ぐ意味があります。『ヘイトスピーチはレッドカード』であると社会に示すことも大事です。少数者の尊厳をおとしめるような発言を許すことは、この社会で暮らす人、一人一人が社会を作り上げる、という民主主義の原則を傷つけることでもあります。」。このように、21世紀の民主主義を支える新たな担い手が、毎週のように数百、数千の規模で育ってきているのです。ここに未来への希望があります。そして、教職員組合が今、何をなすべきかを示しているといえます。

安倍政権による強権的な政治によって職場には自由にもものが言えない雰囲気が広がってきています。わからないから発言しないという人には学習して欲しい。言っても変わらないから発言しないという人には高教組に入って一緒に変える取り組みに参加していただきたい。面倒なことにかかわりたくないから発言しないという人。そんな教師を生徒も保護者も望んでいないし、何よりそんな情けないことを一番許せないと思っているのはその方自身のはずです。ぜひ高教組に加入していただきたい。みなさん。教育の自由と民主主義の砦である高教組を強く大きく発展させようではありませんか。



発行所
神戸市中央区北長狭通5-2-10
兵庫県高等学校教職員組合
TEL 神戸(341)6745~6747
E-mail
honbu@hyogo-kokyoso.com
http://www.hyogo-kokyoso.com
発行人 兵庫県高等学校教
職員組合中央執行委員長
雨松 康之
編集人 梅林 真道
定価 1部 20円
半年分 120円
組合員の購読料は組合費含め徴収

組合加入のご相談
や組合に対するご
質問、全教共済に
ついてのご質問は、
高教組本部に気軽
にお問い合わせ下
さい

TEL 078-341-6745
FAX 078-351-3185



開会宣言をする
水川副委員長



開会宣言をする
永井副委員長

発言(要旨)



中播支部 西山中央委員

姫路市で中学生までの医療費無料化の意見書が採択された。集団的自衛権問題には積極的に関わっていききたい。OBも原水協や労連で活躍してくれている。

東阪神支部 竹中中央委員

市立伊丹高校においては自宅研修の取り組みが粘り強くたたかわれた。このような取り組みを通して支部全体で研修権そのものを見つめ直していききたい。



県高支部 藤原中央委員

研修を認める基準が校長によって差があり、不信感を持ってしまう。修学旅行の割り振りなど、小さなことにもちゃんとこだわって取り組んでいきたい。

但馬支部 綿中中央委員

支部執行委員会に若い先生方の参加が増え、組合の組織や運動について学び合う場になってきている。「署名の下ろし方をもっと戦略的に」という要望も出ている。



全国の仲間の助け合いだからできる 教職員賠償責任共済もセットでどうぞ！

全教共済の **総合共済** 月々600円で

給付がいっぱい！

